

SUN

Soka Univ. News

87

創価大学ニュース
2015
Autumn

プロ野球選手を相手に
力投する田中投手

特集 Special Edition
Autumn at Soka University

創価大学の秋

スポーツ編

田中正義
挫折を乗り越え一球入魂
Seiji Tanaka, overcoming setbacks
by pouring his soul into every pitch

文芸・学術編

創大生が芸術・文化活動に
込めている“想い”とは？
What's the Soka students' passion
for art and culture?

読書編

あなたの“大事な一冊”を
教えてください！
Tell us all about your favorite book!

硬式野球部

田中正義

挫折を乗り越え一球入魂。

肩を壊し、野手として過ごした高校時代。
創大入学後、一から体を作り直し大学日本代表に。
今、プロの熱い視線を浴びる彼が感じていることは。



Soka Athletic Spirit



Seigi Tanaka,
overcoming setbacks
by pouring his soul into
every pitch

プロ相手に150キロ台の速球で三振の山を

夏の暑さが少し和らいだ8月21日、キャンパス内のワールドグラウンドで、硬式野球部と日本ハムファイターズ(2軍)の練習試合が行われました。

天候は曇り。しかし、グラウンドを見つめる人たちのボルテージは高く、その熱い視線の先にいたのは田中正義投手でした。

「夏の疲れが残り、本調子ではありませんでした。でも、しっかり指にかかったボールがコースにいけば、ある程度打ち取れることがわかりました」と田中投手。

この日は5イニングを投げ、4安打1失点で毎回の計7奪三振。球速は、最速153キロを記録しました。

田中投手が一躍注目されたのは、本年6月に行われた大学日本代表とNPB(日本野球機構)選抜の試合。プロの若手を相手に、計4イニングで7連続を含む8奪三振で無失点の上に、球速も154キロを記録。観戦していた国内12球団やメジャーのスカウトの人たちは、その投球に驚きを隠さず、絶賛したのです。

高校時代の挫折で 周囲に流されない冷静さを得る

田中投手を取り巻く環境は一変。彼が登板する試合には、複数のスカウトや新聞、雑誌などのマスコミが必ず集まるようになりました。

「あの試合はできすぎです。あれが皆さんの思う“田中正義”になってしまい、ハードルがかなり上がった感じがします」

川崎中央リトルシニアではエースで4番打者、創価高校でも1年生でエースを任されましたが、肩を壊して野手に転向。幼い頃から目指していた甲子園の土を踏むことはできませんでした。「初めての挫折でした。あきらめかけたこともありましたが、もう一度マウンドに立ちたかった。野球をやめるなんてできなかった。何不自由なく野球をさせてくれた、両親の思いに応えたいという気持ちも強くありました」

創大入学後は、トレーニングジムに通ってトレーナーの指導を受け、故障しにくい体作りをスタート。本やインターネットで徹底的に調べ、栄養や健康に関する知識も身に付けました。そして、1年生の秋の新人戦で、投手として復活を果たしたのです。



1. 全身から繰り出す150キロを超える球はプロもたじろがせる
2. 相手がプロでも臆することなく挑む創大チーム
3. キャッチャーと相手バッターについて入念に打ち合わせる
4. 「走者を出して、ギアが一段入った」と言う田中投手
5. チームメイトに見せる笑顔は学生らしい爽やかさ
6. 試合後、マスコミにコメントを求められ、ていねいに答える田中投手

田中正義さん
Seigi Tanaka

1994年7月19日、神奈川県横浜市生まれ。経営学部3年、硬式野球部所属。身長186cm、体重89kg、最速156キロの本格派右腕。父親の影響で7歳から野球を始め、創価高校、創価大学の硬式野球部で活躍。日本だけでなくメジャーの球団からも注目される選手。本人曰く、友達が多いが、一人の時間を愛するタイプとか。尊敬する選手は、ニューヨーク・ヤンキースの田中将大投手。

**未経験のプレッシャーを
幸運ととらえる強さ**

「それでも不安はありました。大学の4年間で結果を出すことができるのかと。自信が持てたのは2年生のリーグ戦終了後です。45イニングを投げることができ、結果も出せたのでチームに貢献できると思いました」

社会人チームとの練習試合で初めて球速150キロを投げ、その後は東京新大学リーグ戦で150キロ台を連発し6連覇に大きく貢献。大学日本選抜に選出されたオランダ・ハーレムでの国際試合では、最優秀投手賞を受賞。さらに侍ジャパン大学代表として第28回ユニバーシアード競技大会に出場し、金メダルを獲得しました。現在は、秋のリーグ戦での優勝を目指す毎日。

来年のドラフトでも注目を集めています。「プレッシャーはあります。でも、注目されている中で野球ができるのは幸せなこと。プロになれば、これまで以上に注視されますから、そういう環境を今から経験できるのは、とてもありがたいことだと思っています」

**マウンドのこわさや不安は
一球入魂で乗り越える**

周囲の声にも踊らされない冷静さを持つ田中投手。これからの1年間は、野球人生を左右する大切な時間となります。「ピッチャーとしてのキャリアが短いので、今は経験を積んでいきたい。大卒でプロに行くことは、即戦力が第一条件です。これからの1年間はプロで活躍するための技術、体力、精

神力を身に付けたいと考えています」一見、常に堂々としているように見える田中投手ですが、できる準備はすべてやり、不安材料を極力減らして実戦に臨むといいます。それでもピンチは訪れますが、そんな時に心に浮かぶのは、「心で勝て 次に技で勝て 故に練習は実戦 実戦は練習」という創立者の言葉です。「特に心で勝て、はピッチングに通じるところがあります。気持ちが入っているボールと、ただ投げたボールとでは全く違う。ボールに意志を込めることが大切だと信じています」一球一球に魂を込める田中正義投手。これからの活躍に期待がふくらみます。



1. 合宿地長野菅平でのグラウンド練習
2. 予選会と箱根駅伝までのカウントダウン表
3. 合宿中は筋力アップのトレーニングにも取り組みました
4. 降りしきる雨の中の朝練
5. 足腰スタミナ強化のために実施した登山の山頂

まさかの結果

6月20日に行われた第47回全日本大学駅伝対校選手権大会関東学連推薦校選考会。前評判では、本選出場も夢ではないと言われ、かなりの自信を持って臨んだ大会でしたが、出場校20校中19位という結果に。昨年、箱根駅伝予選会でしのぎを削ったライバル校に圧倒的な差をつけられての完敗でした。選考会終了後、あまりの悔しさに心の整理もつかぬまま、部員たちはその場で夜までミーティング。各人の課題を見つめ、飛躍を誓い合いました。その後7月11日に開催された第165回東海大学長距離競技会では、出場14選手中12選手が自己ベストを記録。全日本大学駅伝選考会での大敗でチームが引き締まったのです。

強化合宿

その勢いのままに、8月6日から9月7日までの約1ヶ月間、夏の強化合宿を行い、菅平→妙高→小山町→菅平と場所を変えながら、地形を利用した練習を取り入れました。妙高には、馬場善久学長、菅平には、田代康則理事長が駆け付け選手を激励しました。最初の合宿地の菅平では、足腰のスタミナ強化にと根子岳への登山も実施。岩場を登っていく登山に、選手たちは悪戦苦闘したといいます。また、主将の山口修平選手や後沢広大選手など数名の選手はチーム外合宿として、旭化成やコニカミノルタ、東洋大学などの合宿に参加。強豪チームのトレーニングを経験し、充実した夏を過ごしました。

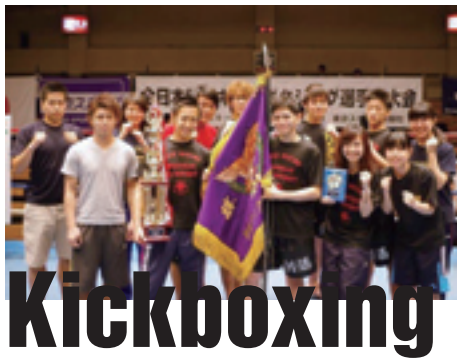
10月17日の予選会に向けて

部員一人ひとりが明確な目標を定め、その達成のために一日をどう過ごすのかを考え、目標とする試合で100%の力を出し切るために、毎日の練習や生活で全力を尽くす覚悟で取り組む。その姿に、箱根駅伝予選会突破への確かな手応えを感じました。本年1月3日、大手町でゴールテープを切った沼口雅彦選手(本年3月卒業)より託された創価大学の襷を後輩たちは握り締め、9ヶ月間自己との厳しい戦いに挑んできました。そして10月17日、箱根駅伝2年連続出場をかけてチーム一丸となって予選会に臨みます。赤には「情熱」、青には「冷静」、金には「勝利」の意義が込められた創価大学の襷。鍛えの9ヶ月を送った選手たちの歓喜の雄叫びが秋の空に響きわたることを確信しています。



陸上競技部駅伝部 箱根路へ 再びの挑戦。

日本中に感動を与えた箱根駅伝初出場から9ヶ月。トラックシーズンを終えて2年連続となる本選出場を目指し、鍛えの夏を過ごした陸上競技部駅伝部は、いよいよ「第92回箱根駅伝予選会」に挑みます。予選会を迎えるまで選手たちは自己との戦いの中で、何を思い、何に向き合ってきたのか……。この夏を追いました。



Kickboxing

キックボクシング部丈夫会 文武両道を貫く 熱き若武者たち。

「第82回全日本学生キックボクシング選手権大会」で、キックボクシング部丈夫会(ますらおかい)が、3大会ぶり6度目となる優勝に輝きました！
彼らの“全員勝利”への道とは。

3大会ぶりの優勝

6月21日、東京・後楽園ホールで開催された「第82回全日本学生キックボクシング選手権大会」で、キックボクシング部丈夫会(ますらおかい)が、3大会ぶり6度目となる優勝に輝きました。

この大会は、全日本学生キックボクシング連盟が開催し、各大学があらかじめ定めた3人の「ポイント選手」の成績で順位が決まります。創価大学の3選手は、梶原大河選手(経営学部2年)は惜しくも1-2で判定負け、森田大樹選手(経営学部2年)はKO(2R53秒)勝ち、主将の呉屋弘之選手(経済学部2年)はKO(1R2分6秒)で勝利を収め、2大会連覇の明治大学を抑え、見事優勝の栄冠を手にしました。また、優秀選手賞に森田大樹選手が選ばれました。



1. 呉屋主将の渾身のローキックが相手選手のボディに
2. 2RKOの森田選手。堂々のガッツポーズ
3. 仲間達と優勝を分かち合う



“全員勝利”へ一人ひとりが挑戦

この優勝を手にする半年前、2014年11月の大会は惜しくも準優勝という結果に終わり、部員は悔し泣きをしながら何が足りなかったのか模索しました。

今年のモットーは「全員勝利」。一人ひとりが自己の目標に全力で挑み、必ず日本一になるとの決意で掲げた全員の誓い。何かあるとこの決意に立ち返り、一人ひとりが本音で語り合い、気持ちを合わせてきました。

森田選手は、試合に向き合う中で文武両道への挑戦について語ってくれました。「先輩方やサポートしてくれる方々のためにも絶対に優勝すると腹を決めました。週6日のハードな練習の中、勝つことが恩返しになると自分に言い聞かせ、また片道1時間以上の通学中に勉強するなど、部活以外でもこれまで以上の挑戦を自分に課してきました」

秋の大会に向けて皆で心一つに

キックボクシング部丈夫会には現在18名の部員がいますが、その中に選手と同じ気持ちで、献身的なサポートをする5名のマネージャーがいます。女子マネージャーの高橋南さん(経済学部2年)は、「11月の大会へ向け、技術だけではなく気持ちで勝つことを意識し、皆でたくさん声をかけ合い語り合い、優勝に向けて心一つにしています。マネージャーとして、気持ちを鼓舞する励ましや、勝利に向けて雰囲気作りに挑戦しています。再び日本一になることを目標に、前進していきます!」と、決意を語りました。

呉屋主将は次の大会へ向け、「今回の試合で、一人ひとりの課題が見えました。秋の大会に向けて、さらに練習を重ね、強いチームに成長していきます」と意気込みを語りました。

キックボクシング部丈夫会の勝利の歴史を築く挑戦が始まっています。



創大生が芸術・文化活動に込めている“想い”とは？

What's the Soka students' passion for art and culture?

ここでは、創大生の芸術・文化活動の様子を紹介します！

彼らの創作活動の根底にあるもの——それは創造性をひらく「創価教育」。

日々のクラブ活動の中で培われた人間練磨の結晶を紹介します。

Soka Artistic and Cultural Spirit

1

華道部 Flower arrangement



作品名: 黎明

法学部4年
山崎 泰斗さん

「この作品は、お花について詳しく知らない方でも秋らしさを強く感じられるといいな、という想いを込めて生けた作品です。余計なものを見せずに大きな竹を一本まっすぐに立てること、また、竹を器にするための加工がとても大変でした」

2

写真部 Photograph



作品名: 今、ここから

経営学部3年
横山 幸子さん

「家のすぐ近くの線路の上から撮った朝日です。『今、ここから、本気になって物事に取り組んでいくのだ』という決意を表そうと思い、撮影しました。見てくださった方にとって、小さな励みの一つにでもなればと思った作品です」

3

美術部 Fine art



作品名: 光進

文学部4年
竹田 伸二 ロビンさん

「月は暗闇の中でも皆を照らして輝いており、また、鷲は天空の王者のごとく大空を飛んでいます。この作品の月は、『皆を照らしてこうとする鷲の心』を表現しており、私自身も皆を照らす存在になっていきたいとの想いを込めました」

4

書道部 Calligraphy



作品名: 希望に燃えて

教育学部4年
平岡 秀美さん

「この作品は、現代と古代の筆法を融合させ記したものであり、そのような独特な表現方法に苦心いたしました。孤独で困難な道を、自分らしく微笑を忘れず負けじ魂で頑張りぬくことで、他者を励ませる自分に、との想いを込めました」

上記作品は、第25回創価芸術展(2014年度)での代表作品です。今年度は第26回として、下記のとおり開催いたします。

○第26回創価芸術展

期間:2015年10月11日(日)～10月18日(日)

時間:10時～19時(ただし、最終日のみ16時まで)※受付は閉館時間20分前まで

場所:創価大学池田記念講堂 入場料:無料

なお、巡回展を今年度は富山県、滋賀県、沖縄県にて開催する予定です。

演奏を通じて「希望」を贈りたい!

箏曲部 Koto



写真は周桜観桜会での演奏の様子

部長にインタビュー!



経営学部3年

大上 宗人さん

入部の動機は?

「中学は卓球部、高校は合唱部に所属していました。大学入学後、箏の音色への憧れとともに、箏曲部の先輩の姿に惹かれて入部しました。先輩たちには共通して『謙虚さ』、『優しさ』、『心の強さ』が備わっています。自分自身もそうなりたいと思いました」

今年の部のテーマを教えてください

「今年の年間テーマは、『薫風』です。初夏の風である薫風に吹かれて、木々の葉が、みずみずしく光り、躍るように、一人ひとりが人間的成長をしていける活動をしていきたいとの意味を込めました」

最後に一言お願いします!

「奏でる音には、その人の心が表れると感じます。日々、心を鍛え、希望を贈ることのできる演奏をしていけるようにしたいです!」

「人のため」のお笑いを追求したい!

コメント 演者・副部長 文学部3年
谷口 優和さん

裏方・副部長 法学部3年
佐藤 浩美さん

落語研究会 Comic story

落語をする部活ですか?

佐藤:落語もしますが、メインは漫才やコントなどお笑いの部活です。演者だけではなく裏方もいて、照明や音響をやったり、ライブの時に配るパンフレットや映像も自分たちで作ったりします。ライブは年に7回。それ以外に、盲学校で落語をしてほしい、地域のお祭りでネタをやってほしいと依頼をいただくこともあります。

大変ですね。どういう想いでお笑いをやっていますか?

谷口:まず面白いと思っしてほしい!その後、元気が出たら明日から頑張ろう、落研みたいに元気になろう、と思って頂けたらいいですね。

佐藤:創立者から頂いた「落研は/皆が喜ぶ/人のため」との指針を胸に、裏方として、お客さんや仲間の喜びを支えたいと思っています。

私たちの元気の出る
一発ギャグを見てください!

スマートフォンで
動画を見てね!



ARリーダーの使い方はP24 参照

もっと見たいと思ったそこのあなた!



で「創価大学落語研究会」を検索!

にぎやかで楽しそうですね!その裏には苦勞もあるのでしょうか。

佐藤:お客さんの手に渡るパンフレットや会場の装飾はマンネリしたくないし、前回より良いものを作りたいです。ライブまでの期間が短いので、間に合わないときは部員総出で準備をします。

谷口:ネタ作りも大変です。全員で面白いものを作るために、部会ではネタ見せをする回数が決まっています。準備期間が短いと忙しいですが、そういう時ほど真剣にやれます。

写真は発想を競い合う大喜利。左:工学部(現 理工学部)3年石川晃さん、右:工学部(現 理工学部)3年朝野建大さん

ケニアで生活するようになったきっかけは？

創大のパン・アフリカン友好会の活動でガーナ大使館を訪問したときに、一等書記官から「日本人は外国人の目でアフリカを見ている。自分の目で直接見て、感じてほしい」と言われたことです。その言葉は私の胸に突き刺さり、ならば自分の目で見ようと、スワヒリ語研修で3ヶ月間ケニアへ行ったのが私の人生を決定づけました。

そのときのケニアの印象は？

ケニア人はゆったりしていて、何があっても「No problem」(笑)。それでもっとケニアを知りたいと、創大卒業後、ナイロビ大学大学院に進学しました。

ナイロビ大学では何を教えているのですか？

文学です。文学を学ぶことは様々な人々の経験や歴史を学ぶこと。文学を通じて相手の感情や状態を想像す

る力を付けることができます。

なぜ弁護士の資格も取ろうとしたのでしょうか？

ナイロビでは、人々が様々な社会問題で悩んでいます。法律を学べばそうした人々を助けることができると考えたのです。しかし現実には、必ずしも報われるとは限らず、依頼人に嘘をつかれることも。だからこそ、より一層自分の能力や人格を磨かなければいけないと思っています。

異文化社会で交流するうえで大事なことは？

摩擦を恐れず、自分の意見をハッキリ言うこと。ただし、相手をリスペクトして、自分らしく誠実にいていねいに自分の意見を言うことが最も大切です。

ケニアやアフリカの魅力を教えてください

まず自然が素晴らしい。海や地平線を見ていると、自分の悩みなんて小さいものだと思います。皆さんも是非

[創大生がインタビュー]

ケニア初の日本人女性弁護士 オダリ・マスミ博士**“パン・アフリカン友好会でのある出来事が私の運命を決めました”**

ナイロビ大学で教鞭をとりながら、弁護士として現地の人々を支援し、尊敬を集めているオダリ・マスミ博士。ケニア人と結婚するも夫と死別。残された3人の子供を育てながら、日本人女性として初の弁護士資格を取得。創大生が、そのパワフルな活動の原動力について聞きました。

オダリ・マスミ博士 Odari Masumi

ナイロビ大学文学学科長。1986年創価大学卒業後、ナイロビ大学大学院留学。その後ナイロビ大学で文学を教えながら、同大学法学部入学。2003年に弁護士資格取得。



一度来て、雄大な自然に触れてください。

ケニアやアフリカの課題は？

テロ、難民、水不足、貧困、森林破壊などの環境問題、象牙やサイの角目当ての密猟など、問題は山積しています。女性の社会進出は進んできていますが、一方で男尊女卑の風習も色濃く残っています。しかし、若い人たちがそれを変えようとしています。

様々な夢を実現されていますが、今後の夢は？

「21世紀はアフリカの世紀」という創立者の言葉の

実現を目指してアフリカに貢献することが私のミッションだと思っています。ケニアをもっといい国にしていきたいし、そのために自分自身も変わっていこうと思っています。

最後に、学生にアドバイスを。

ケニア人の言う「まず自分を信じないで、誰を信じるの？」という言葉を贈ります。夢を持ち、自分の可能性を信じて行動し、そして世界の様々なところで活躍してください。Yes, we can!



熱心にインタビューする学生たち



パン・アフリカン友好会、国際教養学部、GCPの学生たちと



1



2



3



4



5

1.井田 旬一教授 理工学部共生創造理工学科
『太陽が死ぬ日まで』 ロバート・ジャストロウ著
本書との出会いは小学校高学年。著者による宇宙に関する三部作の完結編です。宇宙や生命についての壮大な内容に大いに興味をかき立てられました。進んだ分野は異なりますが、研究者を志すきっかけとなった大事な一書です。

2.中島 里奈さん 短大・現代ビジネス学科2年
『NO.6』 あさのあつこ著／全9巻
2006年に書かれたこの本は、2013年の未来都市《NO.6》を舞台にしています。格差、貧困、疫病など現代社会のあり方に様々な疑問を投げかけていて、本当の平和とは何かを考えさせられます。国際貢献を当事者として受け止める、広い視野を持てた気がします。

3.辰田 隆さん 経済学部3年
『松陰と晋作』 古川 薫著
日本の転換期に多大なる足跡を残した二人の英傑。松陰の信念である「光明正大、十字街頭を白日に行き候ごとく」というフレーズが心に残りました。正義のために堂々と生きていきたいと思いました。

4.若井 美咲さん 教育学部4年
『被抑圧者の教育学』 パウロ・フレイレ著
授業の課題図書として出会った一冊です。教師という職業が持つ「抑圧性」「操作性」が、人の人生を狭めてしまう可能性……。この本は、「異なる境遇の人々と共に生活し、相手を理解していくことが今の自分にできることではないか」と、留学を決意する後押しとなった本です。

5.ルーカス・ソウザさん 日本語別科
『MUSASHI』 吉川英治著(ポルトガル語版)
先輩から勧められ、偉大な人になるには努力と知恵が必要だと学びました。これは創立者の理念と重なり、インパクトがありました。それから繰り返し読んでいます。心に残るフレーズは「人間五十年、化転のうちにくらぶれば、夢まぼろしの如くなり」。

[特集●創価大学の秋 読書編]

あなたの
“大事な一冊”を
教えてください!

Tell us all about your favorite book!

人生を変えた本、友人に薦めたい本。
自分にとって“大事な一冊”を紹介してもらいました。

Soka's
Learning Spirit

皆さんも読んだことのある本、
これから読んでみたいという本がありますか?
読書の秋、本が苦手という人も、
まずは一冊手に取ってみませんか?

次のページでは、オススメ本を紹介します

わたしたちのオススメ本を紹介!

今回紹介する9冊の本は、心に深く届いた本や小説としての魅力を存分に楽しめる本など、読書特集担当のSUN編集委員4人が読んでみてよかった本を選びました。この感動を是非あなたにも共有してもらいたい!



奥深き伝統 芸能の世界へ!

あやつられ文楽鑑賞
三浦しをん 著
2007年ポプラ社発行。

あらすじ／文楽の素人であった著者が、いかにして文楽にはまっていたかの記録。文楽の何が魅力で、どう面白いのかを直木賞作家がつきつめていく。

オススメコメント／作家三浦しをんさんの文楽への情熱が詰まった一冊。日本の伝統芸能である文楽についてわかりやすく楽しく書いてあります。小説『仏果を得ず』も合わせて読むと、より文楽が好きになります。



じつとりと汗をかくおばけより怖い!?

黒い家
貴志 祐介 著
1997年角川書店発行。
第4回日本ホラー小説大賞受賞。

あらすじ／保険金の査定業務をする若槻慎二は、菰田重徳の呼び出しで訪問すると、菰田の連れ子が首を吊った状態で死亡しているのを発見する。そこから命が脅かされる恐怖の日々が始まる……。

オススメコメント／人間心理の究極を突いた一冊!生身の人間の話なのにホラー!身近に感じるからより一層の恐怖感が味わえる!これまでの「ホラー=心霊現象」の方程式を覆す!……本を読んでも夜眠れなくなる体験をしてみませんか?



あなたの大切な人は誰ですか?

最後の授業 ほくの命があるうちに
ランディ・パウシュ +
ジェフリー・ザスロー 著
2008年ランダムハウス講談社発行。

内容／2007年、カーネギーメロン大学で一人の教授の「最後の授業」が行われた。コンピュータサイエンス界の世界的権威が自分の人生の終わりを知った時、伝えたかった事は。ネットで動画配信された講義は、600万アクセスを超えた。
オススメコメント／パウシュ教授が語る言葉は死への恐怖ではなく、支えてくれた周りの人への感謝と遺される幼き子供への思いでした。限りある日々を全力で生きるパウシュ教授の姿に心打たれます。



人は一人で生きるにあらず

サクリフェイス
近藤 史恵 著
2007年新潮社発行。
第10回大藪春彦賞受賞。

あらすじ／高校時代は陸上中距離走でインターハイ1位になった白石誓は、周囲の重圧に耐えられず、自転車ロードレースに転向。チーム・オッジにスカウトされる。誓の仕事はチームのエースのアシスト。ヨーロッパでのレース中に悲劇が……。

オススメコメント／自転車のロードレースを舞台にした小説です。一人ひとりが勝利を目指すのではなく、チームを組んで、アシストはエースを勝たせるために走る!ロードレースの過酷さや疾走感を感じられます。



世界は広い、世界は深い

謎の独立国家ソマリランド
高野 秀行 著
2013年本の雑誌社発行。第35回講談社ノンフィクション賞受賞。本屋さん大賞ノンフィクション部門第1位。

内容／終わりのなき内戦、武装勢力によって「崩壊国家」と呼ばれるソマリアで、武装解除し平和に暮らす独立国家がある。世界をゆるがした衝撃のルポルタージュ。

オススメコメント／謎の独立国家ソマリランドって何だろう?と思わず手に取った1冊です。ソマリア共和国の一角に、そこだけ十数年も平和を維持しているというソマリランド。著者がそれを確かめるべく、ソマリランドに行き、体当たりで現地の人とかかわりあうバワフルさに圧倒されます。



自分の知らない世界に飛び込む!

ハウルの動く城
ダイアナ・ウィン・ジョーンズ著
1986年発行。
1997年日本語訳発行。

あらすじ／魔法の国インガリー国に住むソフィー・ハッターは、父親が亡くなり借金があることが発覚して学校を辞め、帽子店でお針子をしていた。ある日、魔女が現れて呪いをかけられてしまう。

オススメコメント／映画『ハウルの動く城』の原作です。作者のダイアナ・ウィン・ジョーンズは魔法の世界の物語をたくさん書いています。想像もつかない事件の数々に、どんどん引き込まれます。現実逃避したい時にオススメです。



世界と自分自身を新鮮な目で見る!

20歳のときに知っておきたかったこと
スタンフォード大学集中講義
ティナ・シーリグ 著
2010年版急コミュニケーションズ発行。

内容／アメリカ・スタンフォード大学の名物教員による型破りな授業が本になり、ベストセラーとなった。アグレッシブで刺激的な内容が盛りだくさん。これから社会に出る大学生の必読書の一つ。

オススメコメント／5ドルを使って、あなたはどのように資産を増やしますか?—著者が行う講義では、実際に学生が資産運用に挑戦する。成功した学生に共通していたことは、常識に縛られないことであった。いつもと違う一歩を踏み出すことで、新たな可能性に気付けます。



現代の偉人は若き女性

裸でも生きる
山口 絵理子 著
2007年講談社発行。

内容／「途上国から世界に通用するブランドを創る」という突拍子もない夢を抱いた著者のジェットコースターのような波瀾万丈の半生。

オススメコメント／大学卒業後、本当の現場を見たいと渡ったアジア最貧国バングラデシュ。腐敗にまみれ、停電が何度も起こる環境の中、バッグ作りで起業を決意。数々の失敗や裏切りを乗り越え、マザーハウスを設立した彼女の奮闘記は、明日へ向かう方に溢れています!



“家族”とは!?

ハッピーバースデー
青木 和雄・吉富 多美 著
1997年金の星社発行。
2005年文芸書版、コミック版発行。

あらすじ／主人公あすかは、母親から精神的虐待を受けながらも「母に愛されたい」と思い続けていた。しかし、11歳の誕生日に母親の非情な言葉を聞き、そのショックから声を失ってしまう……。

オススメコメント／小学校の道徳の時間にアニメで見たのがきっかけで、原作を読みました。子供は親のものじゃない。ただ親に愛されたいと願う主人公あすかの心の叫びに、涙が止まりませんでした。落ち込んでいる時によく思い出して、また頑張ろうと思います。

[スペシャル インタビュー]

作家 村上政彦先生

小説を書くことは ひと味違う人生への第一歩です。

作家、村上政彦先生が講義を受け持つ人気授業「文芸創作I・II」。テーマは“小説の書き方を学ぶ”。小説執筆の魅力と、授業から生まれた創大生の小説を紹介します。

村上 政彦 Masahiko Murakami

三重県生まれ。業界紙記者、学習塾経営などを経て、1987年に『純愛』で海燕新人文芸賞受賞。『ドライヴしない?』で芥川賞候補になり、以降5回芥川賞候補に。代表作の『ナイスボール』（福武書店）は、『あ、春』と題されて相米慎二監督、佐藤浩市主演で1998年に映画化された。2012年日本文藝家協会理事。主な著作に『キオ・ウイルス』（講談社）、『三国志に学ぶリーダー学』（潮出版社）他。2013年より創価大学文学部非常勤講師。



時代と社会からのオーダーに向き合う“新しい小説家”

“New novelists” who respond to both the times and society

——“小説の書き方を学ぶ”がテーマですね。

私が担当する「文芸創作」は、小説を書くスキルの修得を目標としています。まず、西洋近代文学の名作を読み、それを題材にテーマの選び方、ストーリーの作り方、場面設定、描写技術、人物造形など小説作法を学びます。そして、前期は400字詰め原稿用紙で20枚前後の短編小説を、後期は60枚前後の中編小説を執筆します。できあがった作品に対しては、学生全員で読み合い批評を行います。

名作を読んで学び、自ら作品を書く。さらに、他の学生が書いた作品を読む。書くことはもちろん大切ですが、読むことも同じように大切です。音楽に例えるとわかりやすいのですが。

——小説を音楽に例えるのですか？

例えば、作曲家によって書かれた譜面は、まだ完成品ではありません。演奏家によって奏でられて初めて作品に命が吹き込まれます。小説も読まれることで、読者の中にそれぞれのメロディが奏でられます。それによって、初めて作品として成立すると私は考えています。

読むことは作者、つまり他者との対話ですが、書くことは自分との対話です。そうした意味で、読むと書くは自動車の両輪。読むことは書くことへの回路を開き、書くことで読むことが完成するのです。「読む」と「書く」は、こんな相乗関係にあります。

——創作の際に大切にされていることは？

時代と社会からオーダーを受けるということです。これは授業で目標にしている“新しい小説家”に必要な要素でもあります。

プロ作家は、出版社や編集者から注文を受けて創作をします。ただ、それとは別に、時代と社会からのオーダーが常にあると思うのです。その時代が持つ課題や社会の問題点を受け止めて書くことが必要不可欠。今の時代を生きる、この社会を生きる自分でなければ書けない小説を書いていきたい。

——受講生から“新しい小説家”は生まれそうですか？

受講生は毎年40名ほどです。3分の1は中学、高校時代から創作をしているプロ作家志望。もう3分の1は小説に興味があり、自分でも書いてみたい学生、残りが小説を書くということはどういうことかを知りたい学生です。毎年、豊かな文才の持ち主が必ず数人います。何年かすれば、私の授業を受けた学生から、文学賞受賞者が生まれる日が来ると期待しています。

ただ、プロ作家にならなくても小説を書く意味は大きい。小説を書くことは、自分を作る作業と同じです。一見遊戯の延長のように見えるかもしれませんが、私は人間を作るため、自分を作るための“実学”だと思っています。“小説の書き方を学ぶ”は、人生を豊かにする授業。小説を書かない人生とはひと味違う人生への第一歩となるはずですよ。



**未来の芥川賞作家？
創大生の作品紹介！**

このQRコードからアクセスしてください。

Soka Reading Projectが 使い勝手たっぷり 中央図書館の全貌を紹介!

中央図書館を紹介するのは、Soka Reading Project (SRP) のメンバーです。SRPは、中央図書館を拠点にSoka Book Waveを推進する学生有志の団体。いわば中央図書館は彼らのホームであり、中央図書館の魅力を余すところなく知っています。部長の藤井優衣さんは、「図書館は一日中過しても飽きないほど、魅力ある場所。ここを使いこなしたら、とても充実した学生生活を送れると思います。しばらくご無沙汰している人は、来てみるとびっくりすると思いますよ(笑)。もちろん学生だけでなく、近隣の方も登録すれば利用できます」と語ります。それでは、中央図書館をご案内しましょう!

— 図書館だって声を出していい! — ラーニング・commons (1F)



緑がいっぱいの大きな窓を背に、リラックスして話し合う学生たち。ここはラーニング・commonsというスペース。プレゼンの練習やグループ学習、講師を招いてのイベントなどにも使われます。「静かに黙々と勉強するのも、アクティブなグループ学習もいいですよ」(山本秀夫さん)

— レポート作成の相談にもものってくれる! — 学習相談 (1F)



大学院生がレポート作成についての相談を受け付けています。「友達が勉強方法の相談をするので付き合っ隣で聞いていたことがあります。とても具体的で親切でした」(桂友希さん)

— ノートパソコンも貸してくれます — カウンター (1F)

館内のPCルームが混んでいることも。そういう時の強い味方です。「カウンターは本の貸し出しだけでなく、ノートパソコンも貸してくれます。また、様々なアドバイスを受けられますよ」(坂本華澄さん)



— 本を置くだけで貸し出し完了 — 自動貸出機 (1F)



何冊も借りる時も、この貸出機で背表紙を読み込めば、あっという間に手続き完了です。あと何冊借りられるかというデータも出て、とても便利です。

— 何を讀もうか、と迷ったらここへ! — SBW推薦図書コーナー (2F)



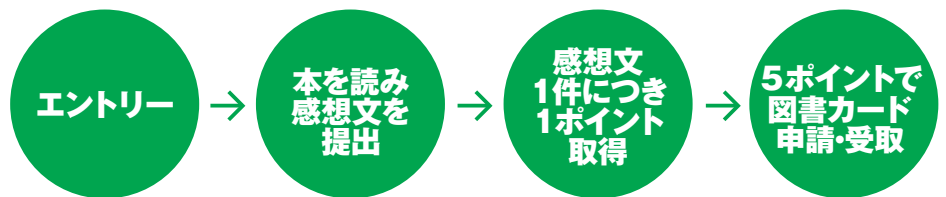
読む本に迷ったら、まずこのコーナーをチェックしてください。新たな著者が発掘できるし、良書と出会えるという期待が持てます。「このコーナーは読後に「当たり!」と思える本が多いですよ」(高出翔さん)

Soka Book Waveでポイントをためて図書カードをもらおう!

Soka Book Wave (SBW)は、創立者が提唱される「活字文化復興」を実現するため、「読書の波」を起こそうとの学生の熱意で始まった全学読書運動です。読んだ本の感想文やショートレビューを書いたり、SPACeや図書館、SBWが開催する各種講座に参加したりするとポイントが取得できます。そのポイントをためると図書カードがもらえます!

参加対象は創価大学学部生、別科生、交換留学生、創価女子短大生です。

エントリーは創価大学附属図書館SBWサイト
<http://lib.soka.ac.jp/sbw/> から!



感想文以外でもポイントもらえます!

●SBW特別講座

学内外の講師を招いた読書講演会です。年1~2回開催。参加者は2ポイント取得できます。

●SRP主催のイベント

ビブリオバトルなどSRP主催のイベントで1ポイント取得できます。

●各種講座への参加

SPACeが提供しているセミナーのうち、「レポートの書き方I」、「レポートの書き方II」、「情報収集の仕方」、「文献の読み方」に参加すると、それぞれ2ポイントを取得できます。

— 飲食、音楽鑑賞、昼寝OKです —

ブラウジングルーム (2F)



おしゃれなデザインの椅子にヘッドフォン、ずらっと並んだ雑誌。ここはCD鑑賞や、お気に入りの雑誌を好きなだけ読めるブラウジングルーム。自動販売機もあり飲食も自由です。「リラックスできる環境が整備されているだけでなく、講師を招いてイベントも。ピブリオバトルはここで開催してます」(山本秀夫さん)



— やっぱり図書館の王道スペース —

閲覧室 (3F)



静かに勉強したい時は3階の閲覧室へ。「日本や世界の文学など、個人的に読みたい本や、授業の参考になる本をよく探しに来ます」(桂友希さん)「本棚の019番は、『読書』に関するコーナーなので、掘り出し物が見つかりますよ」(森田弘美さん)

注目の香峯図書館

学生が図書館をコーディネート“選書ツアー”

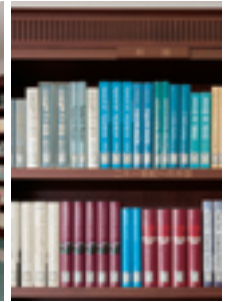
“選書ツアー”とは、短大生が直接書店に向き、読みたい本を1人20冊まで自由に選び、香峯図書館に配架される企画です。都内大型書店の協力を得て、2010年度より開始。年2回開催され、毎回10名が参加します。現在までに選書ツアーで購入した書籍は1,300冊に及びます。参加者からは「本を選んでいるとあっという間に時間が過ぎました。選んだ本を読むのが楽しみです!」との感想がありました。選ばれた本は、

人気が高く1ヶ月間先まで予約で埋まることも。ポップカードや装飾が手作りのものも人気の秘密!



— 世界中の創立者の著作 —

創立者著作コレクション展示室 (3F)



国内外で出版された創立者の書籍が揃い、静かな空間で集中して読書ができます。「図書館で一番芸術的に本が置かれている空間。居心地も良く、椅子が良くて座っているだけでも楽しいですよ」(石原勝利さん)

— 圧倒的な本の量と静けさ —

池田文庫 (書庫7層)



創立者が15歳のときから集められた書籍約7万冊が寄贈され、1997年に設置した池田文庫。蔵書は哲学、歴史、社会科学、自然科学、芸術、文学と幅広い分野にわたっています。「本と心ゆくまで向きあえる場所です」(玉井美和さん)

— 無数に並ぶ本はまさに圧巻です —

書庫

中央図書館には書籍、雑誌など約100万冊が収蔵されています。「本の探求が心ゆくまでできるのが楽しい」(坂本華澄さん)「書庫は人も多くなく、この閲覧スペースは集中して読書できます」(藤井優衣さん)



— いつでも返せるのが便利 —

返却ポスト (図書館入口横、他3箇所)



最後は、返却ポストを紹介します。閉館中でも借りた本を返せるので忙しくても安心です。心おきなくたくさん借りてください。

SRPの皆さん



前列右から森田 弘美さん(法学部1年)、坂本 華澄さん(法学部2年)、玉井 美和さん(文学部2年)、桂 友希さん(文学部1年)、後列右から高出 翔さん(経営学部3年)、石原 勝利さん(経済学部4年)、山本 秀夫さん(経済学部3年)、藤井 優衣さん(文学部3年)

通信教育部40周年記念事業

通信教育部は1976年に開設され、2016年に開設40周年を迎えます。

この度、通教40周年記念事業として、通教生の皆様に
新たなサービスを実施してまいります。

給付奨学金制度を創設 5万円の奨学金を100名に給付!



8月の夏期スクーリングでは、約5,200名の通教生が八王子のキャンパスで学びました

スクーリングの経済的負担を軽減

この夏も通信教育部の夏期スクーリングが開催され、約5,200名の通教生が全国・世界各地から参加し、創価大学のキャンパスで充実した学びの日々を過ごしました。

この度、通信教育部40周年記念事業の一環として通教生のスクーリング受講経費の負担軽減を目的に、「給付奨学金制度(返済不要)」を創設します。2016年度の修得単位数や成績などの出願資格を基準に選考し、2017年度より給付します。

出願資格を満たせば、毎年でも奨学金を受けることができ、通教生のスクーリング受講を大きくサポートしていきます。

※出願資格の詳細は通信教育部HPをご確認ください。

通教生への キャリアガイダンスを開催

本年度(2015年度)の夏期スクーリングより、就職を目指す20代、30代の通教生を対象にして、就職活動のための基礎知識が身に付けられるキャリアガイダンス(就活基礎講座)を開催しました。専門のキャリア講師が、「正しい就職活動の捉え方」「エントリーシートのポイント」「面接へのアプローチ」などのテーマをもとに講義し、多くの学生が受講しました。今後も夏期スクーリング期間中に開催する予定です。



2016年度入学募集 リーフレットのお取り寄せは こちらから

リーフレットをご希望の方は「住所、氏名、電話番号」を明記の上、下記のメールアドレスまでお申し込みください(随時発送)。申し込みいただいた方には、2016年度入学募集要項を12月以降に送付いたします。

申し込み専用アドレス tukyo@soka.ac.jp



創価大学 通信教育部

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236

TEL 042-691-3451

FAX 042-691-9307

<https://www.tukyo.net>



創価女子短期大学開学30周年企画 〔 姉妹対談 〕

短大で学んだ「負けない強さ」を実践する先輩。夢をかなえるべく努力する後輩。
創価女子短大には、先輩を姉、後輩を妹と敬い慕う変わらぬ強い絆があります。

鈴木 夏歩さん(以下、鈴木) 私は英語コミュニケーション学科2年生の鈴木です。今日は成田空港でグランドスタッフとして働かれる平坂さんからお話を伺えて嬉しいです。平坂さんはどのようなお仕事をされていますか。

平坂 彩さん(以下、平坂) 私もこのような機会を頂き、元気いっぱい鈴木さんと話せて嬉しいです。私は2年前に英語コミュニケーション学科を卒業して、今は国際線ゲートにてお客様の接客を担当しています。

鈴木 グランドスタッフを目指したきっかけは何ですか。

平坂 短大卒業生との出会いですね。就職活動を始めた頃、何のために働くのか分からなくて、不安な気持ちでいっぱいでした。そんな時に航空会社に勤

務する卒業生と出会いました。先輩と話す中で、航空業界は英語を活かすことができ、また、短大で学んだ「困っている誰かのために」働ける仕事だと感じ、グランドスタッフに挑戦しようと決めました。決意はしたものの、何十社もある航空関連企業の中で、私のやりたい事ができる企業はどこか分からず悩みました。そんな時に親身になって寄り添い、励ましてくれたのは短大の友達や教職員の方でした。皆に応援してもらい、念願の株式会社JALスカイから内定を頂くことができました。友達の励ましがあって、夢に向かって努力できたと思います。

鈴木 私も短大生の温かさをいつも感じます。受験を決めたのも、短大生の優しさに触れ、先輩のようになりたいと思ったからでした。昨年の白鳥祭で会計部門の責任者になった時も、悩んでいた私をいつも先輩や

友達が支えてくれました。辛い時に励ましてくれる友達は本当に大切ですよ。

平坂 卒業した今でも短大時代の友達と励まし合っています。鈴木さんの夢は何ですか。

鈴木 中学校の英語教師です。もともと英語が苦手な私でしたが、中学校の時に出会った先生がきっかけで英語が好きになりました。私も英語を勉強すること

の楽しさを伝えられる教師になりたいと思います。そのために、今は語学力の向上に取り組んでいます。授業では英語でのディスカッションに挑戦し、今年の春にはフィリピンに語学留学しました。留学中には韓国の方とも仲良くなり、もっと韓国を知りたくなって、日韓青年交流親善事業にも参加することにしました。来

年度は創価大学に編入学しますが、短大の伝統である“2年間で4年間に”との思いで頑張ります。

平坂 私も2年間の濃縮した時を過ごしたお陰で、今では効率的に業務に取り組み、トラブルが発生した際も冷静に対応できる力が付きました。

鈴木 平坂さんの今の目標は何ですか。

平坂 現在、新入社員研修にも携わっております。時間に追われる空港では、強い精神力が求められるので、短大で学んだ“負けない強さ”を伝えられる研修を行うことが今の目標です。お互いの夢に向かって一緒に頑張りましょう！



姉

英語コミュニケーション学科
2012年度卒業
平坂 彩さん
Aya Hirasaka
株式会社JALスカイ
JALスカイ成田事業所 パッセン
ジャーサービス トラフィックグループ

妹

英語コミュニケーション学科2年
鈴木 夏歩さん
Kaho Suzuki
内閣府主催2015年度
日本・韓国青年交流事業に参加

スマートフォンで
動画を見てね!



ARリーダーの使い方はP24参照

夏、世界デビュー!

夏季海外研修で世界を見てきた創大生達が感動をレポートします!

England バックingham大学研修 The University of Buckingham 文学部3年 久保 友里子 Yuriko Kubo



何事にも挑戦する大切さを研修で学びました!英語が苦手な私には毎日が挑戦の連続。最初は自分の英語に自信が持てませんでしたが、拙い英語でも諦めず、挑戦することで自信が付き、もっと話したいと思えるようになりました!

episode

●夏は晴れたらBBQ!!自慢のお庭で盛大に行きます!
●とにかくThank you!!店員さんから何度も言われます!こっちも言う癖がきました!

Myanmar ヤンゴン外国語大学研修 Yangon University of Foreign Languages 経済学部1年 工藤 泰喜 Taiki Kudo



本当に充実した2週間でした!現地ではハニーズの縫製工場や国際NGO、ミャンマーの史跡等を見学しました。現地の人は常に笑顔で、とても温かい気持ちになりました。異文化理解だけでなく、人類にとって大切な「心の豊かさ」を学びました!

episode

●ミャンマー人はみんな親切!助け合いの心に溢れています!
●みんな大好き「モヒンガー」の味は絶対に忘れられませぬ!

USA ジョージア州立大学研修 Georgia State University 法学部3年 中川 夏子 Natsuko Nakagawa

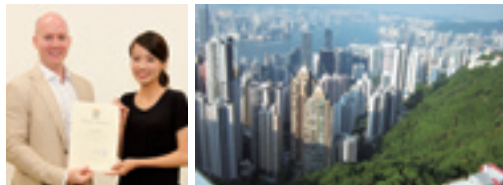


英語とアメリカ文化に毎日触れ、英語学習に対する意欲が増しました。放課後には、アトランタの名所をたくさん訪れ、歴史や文化を学び、先生や現地学生の皆さんと楽しく英語を話すことができました!非常に価値のある時間を過ごしました!

episode

●アメリカは建物も、食べ物も、そして現地の人々の心も大きくてびっくりしました!●寮ではパートナーの皆とゲームナイトやムービーナイト!なぜか日本のギャグがアメリカでも流行っていました!

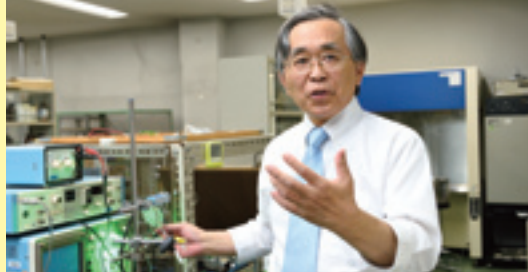
Hong Kong 香港大学研修 The University of Hong Kong 文学部2年 多田 聖美 Kiyomi Tada



アジアNo.1と称される香港大学で質の高い授業に参加しました。授業後は自由時間が設けられ、香港の夜景や街並みを満喫しました。普段日本では経験できない2週間を過ごし、英語力向上への思いも強まり、とても充実した研修でした。

episode

●夜景や街並みがとにかく綺麗!眩しいくらいのライトに感激しました!
●マカオは世界遺産の宝庫でした!特に、聖ポール天主堂跡の不思議さは言葉に表せません!



低出力レーザーやLEDの光が生物の細胞に与える影響を研究中

「研究を通じて医療、食糧、環境、エネルギーの問題に貢献したい」

“We want to contribute to solving medical, food, environment, and energy issues through research”

緑色の光は細胞を元気にする!?
光と細胞の知られざる関係

レーザーやLEDの光が病気を治療したり、農産物の生育を促進したり、あるいはスポーツ選手の記録を伸ばしたりする。そんな時代が来ることを予感させる研究が木暮信一教授の研究室で行われています。その研究内容とは？

「低出力レーザーやLEDの光を生物の組織や細胞に照射する研究をしています。たとえば、カエルの筋肉を取り出して筋収縮を繰り返すと、通常は10分ほどで筋肉がへたってしまいます。ところが、緑色の光を照射しながらこれをやるとなかなかへたらず、長持ちします。カエルの心臓でも同じような実験をしています。脊髄を切断して脳からの指令が伝わらないようにした心臓は、通常15時間ぐらい自力で拍動するのですが、緑色の光を照射するとそれが20時間ぐらいに延びるのです」

光のパワーはすごい!しかも、さらに興味深いのは、色によって効果が違うことです。

「カエルの心臓の場合、赤色の光を照射すると拍動を続ける時間は10時間ぐらいに減ってしまいます。こうした、数々の実験から、緑色は細胞を元気にし、逆に青色は抑制し、赤色は落ち着かせるといった、全く違う働きがあることがわかってきました」

学生が成果をどんどん出す
木暮研究室に注目

「学生がどんどん成果を出してくれる」と教授が評するように、木暮研究室では院生や学部生たちが光と細胞の関係という未知の分野を解明するために、積極的に実験にチャレンジしています。

「知りたいことがあれば、大学の垣根を越えて他大学の専門家のところまで飛んでいったり、実験に必要なだと思えば、新しい試薬を見つけてきたりなど、学生たちの熱意と行動力は驚くほどです。海外の科学誌

に論文を発表する学生や、欧州の大学院に進学して博士号を目指す学生もいて、本当に将来が楽しみです」

地球規模の課題も視野に入れて
研究に挑む

今後の研究の方向性や目標について、教えてください。

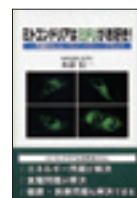
「光が細胞の中のミトコンドリアを活性化したり、抑制したりすることはわかったので、これからはそのメカニズムを明らかにしていきます。光はいい効果を与えますが、一方であまりよくない効果も与えます。ミトコンドリアにはエネルギーを放出するATPという物質を作る働きがあり、光をあてるとそれが活性化しますが、あてすぎると細胞にダメージを与える活性酸素も増えてしまいます。光のバランス、例えば緑色8割、青色2割というような適切なバランスも見つけたい。そこまでできれば、病気の予防や治療、食糧の安定供給、環境保全、エネルギー問題、スポーツ科学など、あらゆる分野において、この研究が役立つのではないかと考えています」



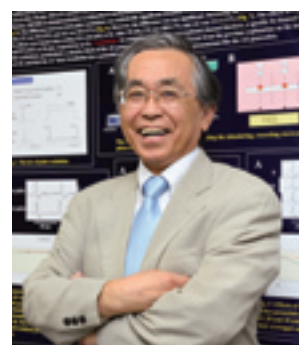
国際てんかん学会(2011年・ローマ)でのポスター発表



2013年度研究生と卒業・修了を祝う



7月には著書
『ミトコンドリアはミトリアが好き!』
—究極のヒューマン・パワー・プラント』
(東京図書出版)が出版された



Profile

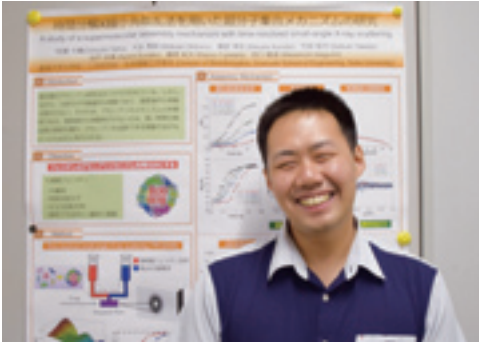
木暮 信一
Shin'ichi Kogure

1973年群馬大学工学部卒業。同大学大学院工学研究科修士後、医学研究科に進み、1979年医学博士取得。創備大学生命科学研究所助教授、プリティッシュ・コロンビア大学神経学研究所客員研究員などを経て、現在、創備大学理工学部共生創造理工学科教授。

学生の活躍 Student Activity

工学研究科

日本蛋白質科学会年会で大学院生が「ポスター賞」を受賞 Win the poster prize at Annual Meeting of the Protein Science Society of Japan



ポスター賞を受賞した佐藤大輔さん

工学研究科博士後期課程3年の佐藤大輔さんの発表が、6月24日から26日にかけて徳島で開催された「第15回日本蛋白質科学会年会」において、応募者150名の中から「ポスター賞」を受賞しました。今回の発表では、「時間分解X線小角散乱法を用いた超分子集合メカニズムの研究」のテーマで、蛋白質の集合のメカニズムを主に兵庫県の放射光施設SPring-8で研究した成果を報告しました。指導教員

の池口教授は、「佐藤さんの研究は日本が誇る世界最高水準の放射光施設SPring-8を利用したものです。単にその性能によるものではありません。SPring-8で得られるデータは膨大で、佐藤さんが作成したコンピュータ・プログラム無しには解析できなかつたと思います。生命科学と情報科学の両方に精通した彼でなければ、なし得なかつた研究成果です」と受賞を称えました。

GCP

GCP生の研究がザンビアで栄養啓蒙の授業に

GCP student research used in nutrition information class in Zambia



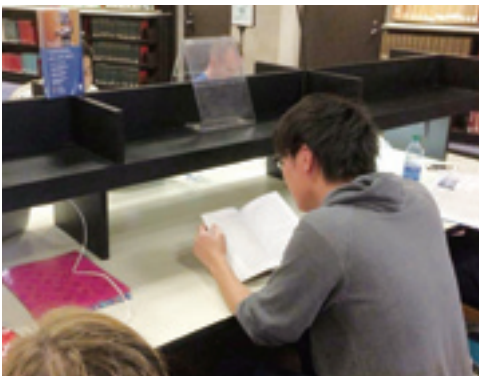
右上の写真は教材を使用した授業の様子

GCP(グローバル・シティズンシップ・プログラム)生5名が提案した「ザンビア栄養改善のための教材開発プロジェクト」が、アフリカのザンビア共和国で栄養改善プロジェクト等を行っている現地の財団によって、実際に教材として使用されました。本年4月に「ザンビア栄養改善のための教材開発プロジェクト」を発足。5月21日に中学3年生にあたる生徒たちに授業が行われ、6月2日には、その中学3年生の生徒たちによって小学校低学年の児童たちに授業が行われました。「楽しい!」「今

後も続けて欲しい!」と嬉しい声が届きました。プロジェクトリーダーの鈴木伸子さんは、「今日のこの作業が、今日の学びが、誰かの役に立つという思いで、今後も活動をしていきたい」と話しています。プロジェクトメンバー:鈴木伸子さん(リーダー/工学部3年※現 理工学部)、伊藤憲子さん(副リーダー/法学部3年)、小野里由香さん(教育学部3年)、田口智英さん(工学部3年※現 理工学部)、中村美佳さん(教育学部3年)以上5名。

留学

内閣府「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」に8名が合格 Eight people selected for the Cabinet Office's Tobitate Study Abroad Program



ボストンで学ぶ市川諒さん(経済学部3年)

文部科学省が2014年度より新たに創設した「官民協働海外留学支援制度〜トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム〜」について、第3期生の選考結果が発表され、本学から8名の学生が合格しました。今期は国内の大学等212校から1,290名の応募があり、全113校から404名が合格しました。私立大学の中で本学は早稲

田大学、慶應義塾大学に続いて3番目に多い合格人数でした。このプログラムでは、学生が立案・作成した留学計画で、特に海外インターンシップやボランティア、フィールドワークなどの実践活動を焦点にしたものを支援対象とし、事前・事後の研修などを通して、グローバル人材としての資質を磨くことを目的としています。

創価女子短期大学

「MOS世界学生大会2015」で世界第3位に

Third place in the Microsoft Office Specialist World Championship 2015



第3位に輝いた下地さん(右から2番目)

アメリカテキサス州・ダラスで開催された「MOS世界学生大会2015」にて、短大現代ビジネス学科2年の下地陽子さんが日本代表として出場し、ワード2013部門で世界第3位に輝きました。

本大会は、世界中の学生がマイクロソフトオフィス(ワード、エクセル、パワーポイント)のスキルの高さを競い合う大会です。MOSを実施・運営する株式会社オデッセイコミュニケーションズと、試験の配信元

であるサーティポート社(アメリカ)が共同で主催。第13回を迎えた本年度のMOS世界学生大会は、8月9日から12日(現地時間)の4日間に渡って開催され、世界82カ国から延べ834,000名の学生が参加しました。結果発表の直後、下地さんは「3位入賞に選出されたとき、驚きとともに喜びで涙が止まりませんでした。この表彰台に立てたことに感謝の思いでいっぱいです!」と喜びを語りました。

理工学部

理系世界トップの「STeLA Leadership Forum」で最高評価を獲得

Get the highest evaluation from the STeLA Leadership Forum, number one globally in science



多国籍なチームでの議論の様子

北京で8月13日から22日に開催されたSTeLA Leadership Forumにて工学部(現理工学部)3年三田部直樹さんが参加し、世界中の学生とチームで取り組んだプロジェクトにおいて、最高評価の“Overall Winner賞”を獲得しました。STeLA (Science and Technology Leadership Association)とは国際的な学生運営の組織で、世界中のトップ大学から科学と工学を専攻する学生が一堂に会し、世界的な課題に対し異文化対話を促進するフォーラムを開催しています。本年も日本、中国、ヨーロッパ、アメリカの大学、大学院の理系

学生約50名が集い、議論を交わしました。三田部さんは、日本、中国、シンガポール、UAE、オランダの学生7人とチームを組み、交通における非効率的な駐車場の利用改善を提案。問題設定の視点やプレゼンテーションの構成、提案の具体性が評価され、最高評価獲得にいたりました。受賞後、三田部さんは、「英語力の差、知識の差、議論の差などを痛感しながら、自分に何ができるかを常に考えさせられるとてもいい経験になりました。今回学んだことを最大限に生かし、今後の成長につなげていきたいです」と決意を語りました。

鳥人間研究会

第38回鳥人間コンテスト2015でチーム新記録を樹立

New record set at 38th Japan International Birdman Rally



大空に向かって滑走路を駆ける創大チーム

7月25日から26日にかけて滋賀・琵琶湖の松原水泳場で行われた「第38回鳥人間コンテスト2015」において、鳥人間研究会が「滑空機部門」に出場し、チームとして新記録となる250.30メートル(大会第7位)を飛行しました。鳥人間コンテストは、読売テレビが制作、日本テレビ系列放映の自作人力飛行機による飛行距離および飛行時間を競う大会で、今回は、「滑空機部門」「人力プロペラ機ディスタンス部門」「人力プロペラ機タイムトライアル部門」

の3部門で実施されました。19チームがしのぎを削った滑空機部門に出場した創大チームは、パイロットであり部長の小笹光明さん(教育学部3年)を中心に、一から機体の設計や製作を行い、ハンググライダーの講習を受けるなど、徹した準備の結果、見事、記録更新となりました。小笹部長は「皆様の応援のおかげで記録更新をすることができました。来年は優勝を目指してまいります!」と決意を語りました。

通信教育部、第40回夏期スクーリングを開講

The Division of Correspondence Education opens the 40th annual summer course

「全ての人に大学教育の機会を」との創立者池田大作先生の思いから始まった通信教育部。夏期スクーリングも本年で40回目の佳節を迎えました。本年は8月9日から23日まで15日間行われ、期間中には日本全国、海外16カ国・地域から約5,200人が参加。開講式は9日、創大池田記念講堂で開催されました。創立者池田大作先生がメッセージを寄せ、「我らの平和のフォートレス(要塞)から、最極の平和の光である『学(がく)の光』を、世界へ未来へと、いやまして強く大きく放ちゆこうではありませんか!」と価値創造の道に歩む通教生に激励を贈りました。



新世紀第15回(第40回)学光祭を開催

15th annual holding (40th in total) this century of the Gakko-sai

8月18日、「新世紀第15回(第40回)学光祭」が開催されました。スクーリング受講者など約1,000名の通教生がディスカバリーホールに集いました。本年で40回目を迎える「学光祭」は「夏期スクーリング」をともに学ぶ学友らがお互いの健闘を讃え合う、通教の伝統になりました。通教生有志が歌やダンスを披露、さらに通教愛唱歌「ヒューマンセンチュリー」を参加者全員で大合唱し、向学の情熱を燃やす友らと生涯の原点を築きました。

馬場善久学長は「いまや通教の卒業生は、日本中、世界中のあらゆる分野で活躍する時代です。仕事や家事などと学問の両立という困難に挑戦することが強靱な精神を鍛えるのだと思います」と述べました。



夏期スクーリングに参加した通教生の声

Voices of the students who participated in the 40th annual summer course

「21世紀は英語が必要だと思い、英会話を履修しました。水準が高い創価大学の英語教育を体験できる機会を頂き、感謝しております。これからもしっかりと学んでまいります」(兵庫県 70代 女性)。

「我が家で最初に通教を卒業した妻の応援もあり、学ぶことの必要性を感じて、本年通教を始めました。現在、創大法科大学院に学んでいる息子と一緒に卒業できるよう、頑張っていると感じています」(北海道 50代 男性)。

「学光祭の演目を通して頑張っている通教生の姿に勇気と元気をもらい、必ず歯をくいしばって、卒業を勝ち取るまで頑張ろうと決意することができました」(京都府 10代 女性)。



サイエンス・サマー・スクールを盛大に開催

Science Summer School held

東西の創価学園生を迎えてのサイエンス・サマー・スクールが、8月25日から27日の2泊3日にわたって創価大学理工学部で行われました。本行事は、学園生に理系科目の面白さを実感してもらおうと、様々な研究分野の最前線で活躍している理工学部の教授陣が、学園生のために実験や実習を行うものです。18回目となる本年は、従来の中学3年生、高校1年生に加えて、初めて中学2年生の希望者も加え、東西計70名の

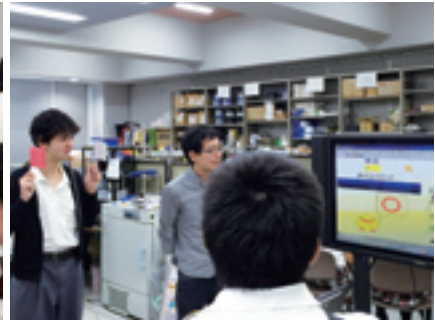
学園生が参加し、盛大に行われました。日頃の数学、理科の授業以上の科学の面白さを発見すると同時に、どれほど中学・高校の勉強が大切か、また、それらを基礎とする先端技術が、どのように社会を支え、人類の繁栄に結びつけられるかを知り、大いに未来への夢を抱く機会となりました。同時に、東西・中高を超えた学園生の友情を深めることができました。



分子コリドであるDNAをアルコールと塩で凝縮させるエタノール沈殿を実際に行いました



実際にAndroidプログラムを書き、アプリケーションを作成しました



ヘテロコア光ファイバを用いたジャケットを着用してのモーションキャプチャに挑戦



マイナス196℃の液体窒素の中にドライアイスで膨らませた風船を入れるとどうなるのでしょうか？



2泊3日の研修を終え、新たな知と友情を得た未来の科学者たち70名で記念撮影

参加者の声

「理系の科目が苦手だったので楽しめるか不安でしたが、創大の先生や学生の皆さんが分かりやすく教えてくれたので、有意義な時間を過ごすことができました」(中2女子)

「東西や中高の枠を超えて、皆と仲良くできて本当に楽しかったです」(中3男子)

「今まで知らなかった世界が広がってとても良い刺激を受けました。これから数学や化学の授業を受ける姿勢が変わると思います」(高1女子)

その他のニューストピックス

大学入試改革をテーマに創価大学教育フォーラム(第13回FDフォーラム)を開催

Soka University Educational Forum held on the reformation of the university entrance examination (The 13th Annual Faculty Development Forum)

姜尚中氏、オダリ氏が本学スーパーグローバル大学イベントで講演

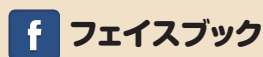
Sang-Jung Kang and Masumi Odari give lectures at Top Global University event

経済史研究分野最大の国際会議「第17回世界経済史会議」にて国際教養学部教授が研究成果を報告

Professor from the Faculty of International Liberal Arts presents research at the 17th annual session of the World Economic History Congress - the world's biggest forum for economic history researchers

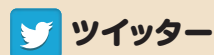
大学の最新ニュースは大学公式SNSで随時配信しています。

HPのトップからアクセスしてください! **創価大学** で検索!



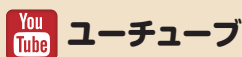
フェイスブック

HPでは紹介しきれないニュース、写真、動画を紹介しています。



ツイッター

HPのニュース、イベント情報、報道発表、重要なお知らせを投稿しています。



ユーチューブ

SUN MOVIEやインタビュー、大学紹介MOVIEを掲載しています。



ライン

受験生向け情報や大学の日常をお届けします。



創価大学ラインQRコード



スマートフォンで
動画を見てね!



新・教育学部棟
紹介

ARリーダーの使い方はP24 参照

新・教育学部棟が完成!

人間教育の教員養成の拠点・教育学部棟がこの9月に大きくリニューアル!
可動式の机と椅子の教室が大幅に増え、より「学生のため」の教育環境が整いました。

1F

講義教室

200名収容の講義室が1階に2部屋、新たに設置されました。ピアノ発表会など多様な目的にも使用されます。



3F

教職キャリアセンター相談室

教員採用試験の対策を担う教職キャリアセンター相談室も充実。個別相談向けの「教育相談室」が新たに設置されました。



3F

音楽教室

音楽教室やピアノ教室が棟内に誕生。4つのレッスン室を含め計55台のピアノが配備され、音楽教育環境が大きく整備されました。



2F

ラウンジ

休み時間や友人との待ち合わせ、ミーティングに最適なラウンジ。清潔感溢れる快適なスペースです。



3F

グループ学習室

少人数でのグループディスカッションやプレゼンなど、現代の教育的ニーズに対応した、より能動的な学びに適しています。



食欲の秋



材料、作り方はcommunicoに掲載

communico × 創大料理研究会

創大生の食生活充実のため、
料理研究会が激ウマ簡単料理を投稿してくれました。
料理研究会は「食に触れ、食に学び、食に感謝、
食を通して幸せに」を指針に
調理、食育セミナー、農業体験などを
行っています!

創大・短大の風景やキャンパス
ライフ等、皆さんの投稿を
お待ちしております。

コムニコへの 投稿は



コムニコ ホームページQRコード

communicoホームページ <http://soka-communico.tumblr.com/submit/> に携帯、パソコン、QRコードから簡単にアクセスできます。もちろん、メールでの投稿も可能。携帯、パソコンから ou3zophz7wvie@tumblr.com へ画像、動画、テキストを添付して投稿してください!

節約♪天津もやし

料理人: 経済学部 2年
端 昂志朗さん

10分



卵の中身はもやしでもおいしく食べられます!
す!材料費も安いし一石二鳥!

豚高菜丼

料理人: 経営学部 1年
都田 浩暉さん

6分



栄養もあるし、簡単に作れるので一人暮らし
の方には特におすすめです!

トマト缶パスタ

料理人: 法学部 1年
出口 俊介さん

15分



トマト缶を使えば簡単に作ることができます。
見た目もとてもおいしく仕上がります!

健康を 科学する

第6回今の食生活が未来の自分を作る

「朝は食べるより寝ていたい」「ダイエットには食べないのが一番」。
そんな食生活を見直して、頭と身体に栄養を!

看護学部

添田 百合子 准教授

専門は成人看護学(慢性)

元大阪医科大学

付属病院看護師長



1. 栄養バランスが体を変える

忙しい毎日の中で、自分の食生活について考える時間が少ない方も多いと思います。しかし体に良くない食生活を続けていると、自分の体に様々な支障をきたすことになります。

カロリーの摂りすぎは、肥満の原因となり、生活習慣病にかかる恐れがあります。それに対し、必要以上のダイエットは乾燥肌や摂食障害を招く恐れがあります。毎日の生活で気にかけるのは「栄養のバランス」です。一方に偏るのではなく、全体のバランスを見て理想に近づけることが大切です。理想的な栄養バランスは糖質50~60%、脂質20%、タンパク質20%です。これらは直接体のエネルギー源になる栄養素なので、摂取量が変化した時に体に影響が出やすい性質があります。食材を選ぶ際は、惣菜パンなどカロリーが高いものは摂り過ぎないように注意し、原材料や成分を確認して選ぶことをお勧めします。また理想的なBMI(肥満度)指数は22~24といわれています。計算式を使って一度自分のBMI指数を計算してみましょう!



BMI計算式

$BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

2. 野菜を摂ることは健康への第一歩

私たちの体は、気温など外部の環境が変わっても体の中を一定に保って生命を維持する仕組みが備わっています。この仕組みのことを「ホメオスタシス」といいます。この「ホメオスタシス」は30歳以上になると機能が弱くなっていきます。また30~40代になると代謝が落ち、それまで蓄積された食習慣が体にあらわれてきます。早いうちから体のことを考えて食生活を整えることはとても大切です。健康のために摂取したほうが良い食べ物、それはやはり「野菜」です。野菜には、ビタミンやミネラル・食物繊維などを多く含んでいます。野菜を多く食べることは、脳卒中や心臓病、がんにかかる確率を低下させるといわれています。特に生野菜は、栄養が逃げていない状態なのでお勧めです。一日350グラムの摂取が理想です。野菜の摂取が厳しい方は、野菜ジュースでも良いので少しでも摂るようにしましょう。

自分の食事バランスと理想的な 食事バランスを比べてみよう!

食事バランスガイド(厚労省)

URL:<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou-syokuji.html>



進学NAVI 「入試・進学相談会」開催

全国12都市で創価大学・
創価女子短大独自の
「進学NAVI」を開催します。
高校1、2年生と保護者を中心に、
広く大学進学に関することや、
大学を取り巻く状況などを
お伝えしつつ、個別相談も実施する
進学相談イベントです。
大学進学をナビゲートします！

右記の会場での
進学・入試相談会は
13:30 開始
15:30 終了
予定です。

10月18日	日	札幌	TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
10月18日	日	横浜	AP横浜駅西口
10月18日	日	さいたま	TKP大宮ビジネスセンター
10月25日	日	新宿	TKP新宿カンファレンスセンター
10月25日	日	千葉	プレナ幕張 幕張会議室
10月25日	日	仙台	TKP仙台西口ビジネスセンター
10月31日	土	高松	サンポートホール高松
10月31日	土	名古屋	TKPガーデンシティ名古屋新幹線口
10月31日	土	福岡	TKPガーデンシティ博多アネックス
11月1日	日	広島	RCC文化センター
11月1日	日	大阪	TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター
11月1日	日	那覇	沖縄県市町村自治会館

創大祭で 受験相談開催!

現役学生やアドミッションズ
センター職員が、入試や受験、
学生生活全般に関する質問に
個別にお応えします。
受験を考えている方、ご家族、
小・中学生どなたでも
気軽にお越しください。
予約は不要です。



**アドミッションズ
センター主催
「受験相談コーナー」**
中央教育棟 1F
アドミッションズセンター
10月11日(日)
13:00~17:00
10月12日(月・祝)
10:00~17:00

2016年度 入学試験日程決まる!

創価大学			
	出願期間	試験日	合格発表日
公募推薦入試	2015年11月1日(日)~ 11月9日(月) (郵送 締切日消印有効)	2015年11月21日(土)	2015年12月2日(水)
大学入試 センター試験利用入試 (前期3科目方式)	2015年12月17日(木)~ 2016年1月15日(金) (郵送 締切日消印有効)	2016年 1月16日(土)・17日(日)に 実施される大学入試 センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2016年2月12日(金)
大学入試 センター試験利用入試 (前期4科目方式)			
全学統一入試 (3科目方式)	2015年12月17日(木)~ 2016年1月20日(水) (郵送 締切日消印有効)	2016年2月3日(水)	2016年2月12日(金)
NEW 全学統一入試 (2科目方式)			
一般入試	2015年12月17日(木)~ 2016年1月20日(水) (郵送 締切日消印有効)	経済・法・教育学部 2016年2月7日(日) 経営・文・国際教養学部 2016年2月8日(月) 看護・理工学部 2016年2月9日(火)	2016年2月18日(木)
大学入試 センター試験利用入試 (後期3科目方式)	2016年2月24日(水)~ 3月4日(金) (郵送 締切日消印有効)	2016年1月16日(土)・17日(日)に 実施される大学入試 センター試験を受験すること (本学独自の試験は課さない)	2016年3月14日(月)

創価女子短期大学			
	出願期間	試験日	合格発表
公募推薦入試	2015年10月28日(水)~ 11月6日(金) (郵送 締切日消印有効)	2015年11月14日(土)	2015年11月20日(金)
一般入試	2016年1月4日(月)~ 1月22日(金) (郵送 締切日消印有効)	2016年2月4日(木)	2016年2月13日(土)

NEW

全学統一入試 (2科目方式) スタート!

2016年度入試(2015年度実施)より、全学統一入試(3科目方式)に加えて、「2科目方式」が新しく始まります。ぜひ、ご利用ください!

詳細はWEBから **創価大学 学部入試情報** で検索!

配布中

願書(入試要項)& キャンパスガイド

創価大学、創価女子短期大学の願書
(入試要項)や、受験生用パンフレット
「キャンパスガイド2016」も、
こちらでご請求いただけます。
ご希望の方はぜひご利用ください。



資料請求は、創価大学ホームページから

受験生キャンパスツアー用 「カート」を導入!

好評のキャンパスツアーを
より楽しくサポートする
「カート」(5人乗り)を導入しました。
ぜひ、ツアーにお申し込みください!



お申し込みは WEB から

創価大学 受験生キャンパスツアー で検索!

AReader の使い方

STEP1

ARアプリ「AReader」を
インストールします。

STEP2

ARアプリ「AReader」を
起動します。

STEP3

AReaderのマークを読み
取り、映像を鑑賞します。



iPhoneはこちら



Androidはこちら

編集部からのお知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これ
からも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいります
ので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp